

## 広報ただみ診療所

朝日診療所  
所長

わかやま たかし  
若山 隆



只見町では高齢者へのコロナワクチン接種が一通り終了し、(12歳未満を除く)全世代へのコロナワクチン接種が始まっております。一方、コロナワクチンの変異株も複数種現れておりますが、只見で実施されているmRNAタイプのワクチンは、変異株(デルタ型{インド型}変異株含む)に対しても高い有効性を持っているという報告があります。それでも若干効果はおちるようで、デルタ型(インド型)に関しては、1回だけだと有効率が33.5%と低くなるので、しっかり2回接種することが大切(2回接種して2週間たったあとの感染抑制効果は79%)になります(参考:山中伸弥による新型コロナウイルス情報発信:変異ウイルスの影響は? <https://www.covid19-yamanaka.com/cont5/38.html>)。

ワクチンの接種が広がれば、感染対策のためにこれまで制限されていたことが少しずつできるようになってくると思います。海外旅行が代表的な例で、ワクチンパスポート(ワクチン接種を証明するもの)を発行すれば、海外渡航後の隔離期間が免除となるような制度も計画されています。

朝日診療所では、ある特定の条件を満たす場合に限り、入院患者との面会制限を緩和する予定です。医療機関という特殊な環境で感染リスクをなるべく低くするための条件があり、また感染者が増加する際などに随時変更になる可能性もありますので、詳細については朝日診療所に直接ご確認下さい。将来的にはこれまでのように症状のない方はだれでも面会ができる日が来ることを願っています。

## 地域おこし協力隊として

Vol.79

只見町教育振興協力隊  
あべ としひろ  
阿部 利浩



只見町教育振興協力隊として、まもなく3年間の任期を終えます。この間町の皆様には大変お世話になりました。只見高校の振興対策会議の開催、山村教育留学生の募集から卒業までの一連の行事、小中学生の夏休み、冬休みのスクール開設など、只見の子供たちの素直で実直な素顔に触れるたびに、会社勤めでは経験することのできなかつた貴重な経験をさせていただきました。高校の探究授業協力では、お声かけさせていただいた町内の皆様に積極的にご協力いただき、本当にありがとうございました。その都度必要な、あるいはやる意義があると思い、高校の探究学習、校内での放課後塾、英会話教室、文科省の架け橋プロジェクトでの海外高校の留学生受入れ、留学生の町内民泊、地域みらい留学に参画してのオンライン説明会を通じた留学生募集など、いろいろな新しいことにもどんどんチャレンジさせていただけたのは幸いでした。それぞれに学ぶところや新たな発見がありました。一方で只見高校の生徒が増えたのか、振興になったのかといわれると一番重要な成果につながっておらず心苦しいところです。単発のイベントで終わらずに、意図をもってそれらが計画的に繋げられ、只見高校、あるいは只見町の教育として構築されること、そしてそれが外部から評価を受け認知される道筋ができれば、只見町内外の生徒が目指す進学先としての只見高校になっていくのではないかと思います。高校のコミュニティスクールも始まり、高校と町が連携して本格的にそれを始めていくところですので、これからも皆様のご協力をお願いします。